



2025-2026 年度 RI 会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」

# GOVERNOR'S Monthly Letter



フランチェスコ・アレツツオ RI 会長と。

国際ロータリー第 2510 地区 2025-2026 年度ガバナー 玉井 清治

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F

TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512 E-mail : rid2510@pxva.ne.jp http://rid2510.org

# ガバナー月信 vol.5 目次

## ガバナー公式訪問報告



**Rotary** 

## OTHER CONTENTS

■ ガバナーメッセージ	1p	■ ハイライトよねやま	14p
■ ガバナー公式訪問例会報告	2p	■ コーディネーターNEWS	16p
■ ガバナーノミニー候補者推薦のお願い / 文庫通信 394 号	10p	■ 9月会員数・例会数報告	19p
■ 新会員のご紹介 / 計報 / 9月米山記念奨学会寄付・ロータリー財団	11p	■ 地区カレンダー 11月・12月	20p
■ 2026 年台北国際大会のご案内	12p	■ ガバナー公式訪問に関するお願い ・ガバナー事務所からお願い	21p

## 今月の写真「江差駅」



かつて、数多くの旅人を迎える、そして見送ってきた終着の地「江差駅」。  
いまは線路も途絶え、列車の響きも消え去りました。  
終着駅の寂しささえも、時の流れの中に溶けてゆく。  
それでも、この地に生きる人々の温かなまなざしと郷土への思いは、今も、そしてこれからも、静かに永遠へと続いていきます。

(撮影日) 平成 15 年 10 月 6 日：玉井ガバナー



## 奉仕の理想をかたちに —ロータリー財団と若き力—

国際ロータリー第 2510 地区  
2025-2026 年度 ガバナー

**玉井 清治**  
(函館亀田 RC)

10月11日・12日の両日、函館において開催いたしました「地区大会」に、多くの皆さまのご参加をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

ご遠方よりご臨席賜りました皆さま、また準備・運営にご尽力くださいました実行委員会、各クラブの皆さまのおかげをもちまして、「リバイバル原点回帰」のテーマのもとに、心温まる大会を無事に終えることができました。皆さまのご尽力に、改めて深く感謝申し上げます。

開会式から会長・幹事会、記念講演、星空の晩餐会、本会議に至るまで、すべての場面で温かい笑顔と前向きなエネルギーがあふれ、ロータリーの原点である「奉仕の理想」を改めて実感いたしました。

また、基調講演を賜りました刀根莊兵衛様、ご多忙の中お越しくださいました中谷研一 RI 理事エレクトご夫妻、全国から駆けつけてくださった同期ガバナーの皆さま、友好クラブ、その他大勢の皆さまからいただいた温かい励ましの言葉は、次年度に向けての大きな励みとなりました。

この大会で芽生えた新たな友情と共に、これからロータリー活動へとしっかりとつなげてまいりたいと存じます。

ここに、皆さまのお力添えに心より感謝申し上げ、改めて厚く御礼申し上げます。

• • •

錦秋の候、各クラブの皆さまにおかれましては、お元気にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

いつまで続くかと思われた酷暑もようやく収まり、澄んだ空に「うろこ雲」「いわし雲」が浮かび、秋の訪れを感じさせる季節となりました。本年度も早くも 4 ル月が過ぎ、各クラブにおかれましては、奉仕の実践、親睦活動ともにいよいよ充実の時期を迎えられていることと拝察いたします。さて、11月は「ロータリー財団月間」です。

ロータリー財団は、寄付金を受け取り、ロータリークラブや地区が実施する人道的・教育的活動に補助金を提供する非営利法人です。正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」です。その構成員は、唯一「国際ロータリー」という法人会員のみであり、財団管理委員は RI 会長エレクト推薦のもと RI 理事会によって選任されます。つまり、ロータリー財団は、国際ロータリーと理念を一にし、奉仕の精神

のもとで活動する組織であると言えます。特に、米国においては寄付者に税制上の優遇措置を適用するため、RI とは別法人格を持たせています。日本でも「公益財団法人口ータリー日本財団」を通じて寄付することで、税制優遇が受けられる仕組みが整備されています。

ここで、地区の皆さまにお伝えしたい想いがあります。地区補助金は、100% 活用を前提とするべきです。もちろん、無計画な使用を推奨するものではありません。地区ロータリー財団委員会が申請に関するサポートをしっかり行い、価値ある奉仕活動に最大限に活かしていただきたいと考えております。「私たちのロータリー財団」であるからこそ、皆さまが積極的に補助金を活用し、地域社会へ、世界へ、未来へ、希望を届ける原動力としていただきたいのです。今後さらに、地区として支援体制を強化し、プロジェクト選定や申請手続きにも手厚いサポートを行ってまいります。

一部には「ロータリー財団の財務が不透明ではないか」という懸念も聞かれますが、財団は毎年、活動報告書と財務報告書をすべてのクラブ宛に発行しています。また、米国の慈善団体格付け機関においても最高ランクの評価を得ており、その健全性は世界的にも高く認められています。私たちは、安心してロータリー財団への支援を続けてよいのだということを、改めて共有したいと思います。

なお、11月5日を含む1週間は「世界インタークト週間」です。インタークトは、12歳から18歳の青少年を対象に奉仕の心と国際理解を育む素晴らしい活動です。約14,900 クラブが活動しており、会員数は約 343,000 人に達しています。日本でも多くの若者たちが未来に向かって歩みを進めています。地区内でもインタークトの活動をより活性化し、次代を担う若者たちの成長を温かく見守り、支援してまいりたいと思います。

「リバイバル原点回帰」この言葉に込めた想いは、ここにも生きています。ロータリーの原点は「奉仕の理想」。ロータリー財団は、その理想を世界中で具体的な形に変える力となっています。今こそ、原点に立ち返り、未来への新たな一步を！ともに歩みましょう。

# ガバナー公式訪問例会報告

## 静内ロータリークラブ

8/27(水)

午前中より例会に先立ち行われた会長・幹事会、及びクラブ協議会ではクラブの活動状況などの報告をし、玉井ガバナーからは地区の様々な事例や状況などの情報、クラブ活性化のヒントをなどのアドバイスを多くいただきました。クラブ例会では10月におこわわれる地区大会の紹介と講話としてクラブの奉仕活動や親睦活動に対する感想や激励をいただきました。

例会後には地域の基幹産業である軽種馬施設を視察し、夕方からは例会とは別に社会奉仕委員会が企画したの門別競馬場で行われている「ホッカイドウ競馬」の視察、応援事業にもガバナーに同行していただきました。一緒に食事をし、馬券を買って、冠レース「静内ロータリークラブ賞」では表彰式のプレゼンターまでしていただけ、親睦が深まる最高のひと時を過ごすことができました。なによりガバナーの明るいお人柄、前向きな発想など、参加した会員が玉井ガバナーのファンとなり、公式訪問が静内RCにとって有益な一日となりました。



## 札幌北ロータリークラブ

9/1(月)

グランドメルキュール札幌大通公園にてガバナー公式訪問が行われました。

会長・幹事懇談会は玉井清治ガバナー、第4グループ池田和陽ガバナー補佐、岩川信子地区代表幹事が出席され、当クラブからは鈴木隆也会長、瀧澤隆之介幹事、吉井千博会長エレクト、川内玄太副幹事の合計7名にて行われました。クラブの状況報告をさせて頂き、玉井ガバナーからは現在のクラブ運営についての悩みや問題などについてのヒヤリングがあり、当クラブからは会員増強についてご相談をし、新しい形での会員獲得についてアドバイスを頂きました。

クラブ協議会では形式に沿って各委員会からの活動計画を発表した後、玉井ガバナーからそれぞれの委員会についての活動についてやクラブの一体感などもお褒め頂きました。

例会ではメインプログラムで今年度の活動方針などをご説明された後、クラブの在り方や繋がりなどについてご意見を賜りました。

全てのプログラムが終了した後、集合写真を撮ってガバナー公式訪問が終了いたしました。



# ガバナー公式訪問例会報告

## 長沼ロータリークラブ

9/1(月)

9月1日（月）に玉井清治ガバナーと橋功記第7グループガバナー補佐をお迎えしました。玉井ガバナーからは、SNSの活用や家族例会など、ロータリー以外の人にロータリーを知ってもらい、若い会員による若い風を入れましょう！会員増強一会員を「増」やすだけではなく「強」、つまり退会させないこと、皆が楽しいと感じ、帰属意識が高ければ、活性化された「強い」クラブになります、との勇気づけられるお言葉をいただきました。クラブ創立時スローガン「小さな長沼から世界に眼を向けて」のもと、コロナ禍を経て再出発した「国際交流ワークショップ」もぜひ継続し、若い人たちと同じ目線に立つ機会を大事にしてほしい、とのお話もありました。例会では、地区内会員の事業所を利用しやすくするためのGoogleマップを活用した取り組みや、SNSなどで地区や日本、さらには世界と繋がってほしい、という「世界に眼を向けて」に通じるお話も聞くことができ、片岡新会員へ玉井ガバナーからロータリーバッヂの贈呈もしていただきました。玉井ガバナーと橋ガバナー補佐のご訪問、誠にありがとうございました。



## 札幌清田ロータリークラブ

9/2(火)



札幌清田RCは、9月2日、玉井清治ガバナー、菅原秀二第5グループガバナー補佐に、公式訪問として当クラブへお越し頂きました。

現在、私達は会員の減少等に伴いクラブ例会の実施、クラブ運営のあり方等の見直・検討が求められている状況ですが、玉井ガバナーより、現在、各クラブで実施されている又は検討されている例会・クラブ運営の具体的な事例の提示を受け、従来からの既存の形式に囚われる必要はなく、例会は会員が親睦し満足する場であり、会場等の外観に拘る必要はなく、ただし、例会の実施回数を減らすという考えは、本来の例会の存在目的と相反することもあり、慎重に検討するべき等の提言を受けました。私達の今後の方針決定に大いに資するものがありました。

来る10月の地区大会に関しては、参加者の交通移動等の便宜も考慮し、プログラム内容を決定したこと。又、1日目の晩餐会アトラクション等の決定に至る経緯も話され、大いに地区大会への期待が増しました。玉井ガバナー、菅原ガバナー補佐、公式訪問改めて御礼申し上げます。

# ガバナー公式訪問例会報告

北広島ロータリークラブ

9/2(火)



令和7年9月2日（火）16：30から会長・幹事会を開催。

出席者は玉井ガバナー、橘ガバナー補佐、藤田会長、羽田幹事、櫻井会長エレクト、藤田（真）副会長でした。

玉井ガバナーの計らいにより忌憚のない意見交換ができました。

若い世代との価値観の違いやアプローチの仕方などアドバイスをいただきました。

世界で3年未満の会員の退会が2万人ほどいることを聞いて驚きを感じました。

ワークショップの開催やロータリークラブの成り立ちなどの勉強会の実施、RLI の参加によってやる気を出させる目標設定、若いロータリアンは何を求めて入会したのか？などクラブで考え、思い、行動する事がまだまだあることを認識いたしました。

その後、クラブ協議会にて今年度の目標をお伝えした中で北広島独自の北海道日本ハムファイターズ関連で親睦活動グループの設置も今後頼もしい計画になるのではないかと話しが盛り上りました。

終了後、夜例会にも玉井ガバナーの参加をいただき、ロータリーとは何か、原点回帰（リバイバル）の可能性、若いロータリアンとの意見交換の大切さなど多くのお言葉をいただきました。

例会中は若いロータリアンと熱い意見交換をされていたのがとても印象的でした。

とても大事なお話を多くしていただき、また楽しく意見交換ができた例会となりました。

函館の地区大会のご準備でお忙しいとは思いますが、お会いできることを楽しみにしております。

玉井ガバナー本当にありがとうございました。

新札幌ロータリークラブ

9/3(水)

2025年9月3日（水）、ホテルエミシア札幌において、玉井清治ガバナーと菅原秀二ガバナー補佐をお迎えいたしました。公式訪問当日は、まず16時30分から「会長・幹事懇談会」にご出席いただき、会員増強、クラブ運営に関し、当クラブの実情に即したご示唆をいただきました。

また、17時30分からは「クラブ協議会」にご出席いただき、当クラブが実施している奉仕事業のほか、クラブ内において会員同士が互いを知る機会を増やすことなどの活動計画を報告させていただきました。玉井ガバナーからご講評をいただき、当クラブ会員それぞれがより一層高い意識を持てる機会となりました。

そして、18時30分からは「第1834回例会」にご出席いただき、玉井ガバナーより卓話をいただき、目指すべき会員増強の在り方をご示唆いただくとともに、地区大会函館開催に向けた取り組みを教えていただきました。例会終了後には記念撮影をさせていただき、終始、朗らかで明るい玉井ガバナーの姿に心打たれるガバナー公式訪問となりました。



# ガバナー公式訪問例会報告

札幌東ロータリークラブ

9/4(木)

9月4日（木）に玉井清治ガバナー・菅原秀二第5グループガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ち、10時30分から行われた会長・幹事懇談会では、当クラブの概況やクラブ運営方針を説明させていただいた後、玉井ガバナーから会員増強や退会防止の取組みやクラブ中長期計画の取り纏めにあたってのアドバイスをいただきました。

11時30分からのクラブ協議会では、玉井ガバナー及び菅原ガバナー補佐にご挨拶を頂戴した後、20名の委員長から活動内容の発表をさせていただき、最後に玉井ガバナーから、札幌東RCがロータリーの原点に立ち返り、危機感を持って将来像に向き合っている姿勢と梅澤会長の強いリーダーシップのもと、会員増強に向けクラブが一体となって取り組む姿勢を評価頂きました。また、世界平和の推進、RI及び地区重点目標を踏まえた講評をいただきました。

12時30分からの例会では、RI会長エレクトの直前の辞任について、フランチェスコ・アレツツオ新会長について、本年度の地区テーマ「リバイバル原点回帰」について、地区内ネットワークを強化する新しい試みについて、地区大会の改革について、最後に退会防止の為に家族の理解と協力、家族にロータリーの楽しさを共有することがクラブの力強さに直結するとのお言葉を頂きました。

ご多忙の中、クラブをご訪問いただき心より感謝申し上げ、報告といたします。



美唄ロータリークラブ

9/4(木)

9月4日（木）、美唄の「寿楽」にて、ガバナー公式訪問が行われ、玉井ガバナー、西方ガバナー補佐、神田ガバナー補佐幹事の三名をお迎えしました。当日は、会長・幹事懇談会、クラブ協議会、夜間例会を通じて、クラブとしての活動状況や今後の方針について有意義な意見交換を行いました。

午後4時30分からの会長・幹事懇談会では、岸山会長、石田エレクト、伊藤副会長、武市幹事の4名が出席し、まずは自己紹介を交えた和やかな雰囲気の中、美唄RCの現状報告を行うとともに、地区の方向性や玉井ガバナーのロータリーに対する想いなどを伺いました。その後、午後5時15分からはクラブ協議会が開催され、各委員長に加え3名の新入会員も出席。玉井ガバナーからのご挨拶に続き、新入会員による自己紹介、そして各委員長より本年度の事業計画などの説明が行われました。

午後6時30分から始まった夜間例会では、玉井ガバナーより「時代に合ったロータリークラブの在り方」について卓話をいただき、今後のクラブ活動の方向性を改めて考える貴重な機会となりました。懇親会の場では、今年白寿を迎えた三浦会員と玉井ガバナーとの記念写真撮影も行われ、和やかなひとときを過ごすことができました。なお、今回の公式訪問においては、マイクアップ1名を含めて出席率100%を達成することができました。ご出席いただいた会員の皆様に心より感謝申し上げます。



# ガバナー公式訪問例会報告

## 小樽ロータリークラブ

9/9(火)

小樽 RC におきまして、9月9日（火）、玉井清治ガバナーを公式訪問としてお迎えいたしました。午前10時30分からの30分間は、笈川ガバナー補佐、上浦会長、渡邊会長エレクト、山口幹事が同席し、RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）の活用方法や、3か年計画の推進、ロータリー財団や米山奖学への寄附金の在り方、さらに玉井ガバナーご自身が発信されている YouTube チャンネルに関する質問など、幅広いテーマについて意見交換を行いました。それぞれに対し、玉井ガバナーからは具体的で貴重なご助言を賜りました。



続いて11時10分からは1時間、クラブ協議会にご出席いただき、3年未満の新会員の積極的な参加や、勧誘パンフレットの作成、また各委員会での十分な検討を重ねる重要性についてご評価ください、励ましのお言葉を頂戴しました。

さらに12時30分からの例会にもご参加いただき、卓話では約25分間にわたり、地区大会のタイムスケジュールを工夫し会員に寄り添う姿勢の大切さ、小樽 RC スローガンに含まれる「家庭」というキーワードの意義、そしてSAAを中心とした厳粛な例会運営の重要性などについてご講話をいただきました。会員からは「非常にわかりやすく、地区活動を身近に感じられた」との声が多く寄せられ、学びの多い一日となりました。次回、函館での地区大会にて再びお会いできることを楽しみにしております。

## 千歳セントラルロータリークラブ

9/9(火)



令和7年9月9日、玉井清治ガバナー、橋功記ガバナー補佐をお迎えし、当クラブ例会場にて公式訪問が行われた。訪問の目的は、地区方針の周知とクラブ活動の確認、意見交換であり、出席会員一同が真摯に耳を傾けた。当クラブからは、地域社会への奉仕事業や創立35周年記念事業の準備状況、会員増強や広報活動の取り組みについて報告した。ガバナーからは、地区方針に沿った事業推進、ロータリー広報活動や国際奉仕の一層の強化、そして持続可能な会員増強、維持への示唆をいただいた。また、35周年を契機とした更なる飛躍への期待が示された。今回の訪問は、クラブの現状を再確認し今後の方向性を明確にする貴重な機会であり、全会員にとって奉仕の原点を改めて意識する有意義な場となった。

# ガバナー公式訪問例会報告

岩内ロータリークラブ

9/11(木)



2025年9月11日(木)、あづま鮓にて、玉井清治ガバナー、笈川ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

10時30分より会長・幹事懇談会、11時30分よりクラブ協議会、12時30分より公式訪問例会が行われました。懇談会では、会話の中で玉井ガバナーと川崎会長が同年齢であることが分かり距離感が一気に縮まり和やかに開催されました。

議題としては特に「会長エレクト研修セミナー」について思うところをお答えいただきました。

クラブ協議会では、奉仕プロジェクトやロータリー財団、米山などの活動内容について、他のクラブにない岩内RC個性あふれる事業や工夫にお褒め頂き、また本年度クラブテーマ「バトンをつなぐ」には玉井清治ガバナーとの指針に沿ったものと感銘いただきました。

続く卓話では、作成中コンテンツである「デジタルMap」、RI会長の直前交代人事についてのご説明を賜りました。また、10月の地区大会についてのご案内もいただき、心のこもった大会運営への期待が高まりました。

玉井ガバナー、笈川ガバナー補佐、このたびは当クラブにご訪問いただき、誠にありがとうございました。

赤平ロータリークラブ

9/16(火)



9月16日(火)赤平RCにおいて、玉井ガバナー、沢田ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。当クラブの例会会場はJR駅を併設する複合施設「交流センターみらい」。玉井ガバナーには駅舎や産業ほか展示ブースなどもご覧いただきました。会長・幹事との懇談会では和やかに有意義に意見交換、そして玉井ガバナーからは「少人数のクラブでも適正な人数で明るく楽しいクラブにすることが大切」など視点を変えることの大切さをご示唆いただきました。クラブ協議会、公式訪問例会でも各地の実例、いろいろなクラブ運営の仕方や力強いメッセージをいただきとても有意義な公式訪問例会となりました。玉井ガバナーからご指導いただきました事を活かし、楽しいクラブにして会員拡大に繋げ益々活気あるクラブに！してまいります。

# ガバナー公式訪問例会報告

栗山ロータリークラブ

9/16(火)

玉井ガバナー、西方ガバナー補佐、神田ガバナー補佐幹事が当クラブを訪問されました。

16時30分 会長・幹事懇談会

玉井ガバナーが「会員増強です。」とお話をして下さった中に、私たちが「どうか入会して下さい」と頭を下げてお願いするよりも、ロータリーは素晴らしい人たちの集まりだ、自分もその仲間になりたい、「ぜひ入会させて欲しい」と言ってもらえるあこがれる存在のロータリアンでいましょうと一言。その為に、行動・品性・服装等教えて下さいました。



17時30分 クラブ協議会：各委員会の活動方針と計画を発表

クラブの青少年委員会活動で、小学生・中学生を対象とした図画コンクールの展示期間中でぜひ見て頂きたかったのですが、開場時刻を過ぎており拝見いただくことができず残念でもありました。今年で9回目のコンクールで会員一同、力の入る事業もあります。

18時30分 クラブ例会：地元の居酒屋での例会と懇親会

とても楽しく玉井ガバナーを身近に感じられるひと時でした。

今後、玉井ガバナーのご助言を元に、クラブ運営に役立てて行きたいと思います。

クラブ訪問、ありがとうございました。

千歳ロータリークラブ

9/18(木)

9月18日(木) ANAクラウンプラザホテルにて第2510地区玉井清治ガバナー、第7グループ橋功記ガバナー補佐をお迎えしてのガバナー公式訪問が開催されました。

例会に先立ち10時より会長・幹事会が行われました。ガバナーからはお互い忌憚ないお話しをしましょうと言うことで、ガバナーからは普段聞けないような国際ロータリー情報、地区、ガバナーの考えなどをお話しいただき、それについてこちらから何点か質問させていただきました。



引き続き11時からはクラブ協議会が開催され、各委員長が今年度の活動方針を発表し、最後にガバナーから講評をいただきました。クラブ全体として各委員会とも積極的に活動しており大変すばらしいとの評価を頂き、他のクラブにはない健康委員会、環境保全委員会にも興味を示されていました。

12時半からの例会では、「国際ロータリーについて」、「ガバナーとして取組みたいこと」などをお話し頂き、ガバナーのロータリーへの熱い思いを肌で感じ、ガバナーの温かいお人柄にも触れることができました。

後半は地区大会について詳しくご説明していただき、ガバナーとして今年はこういう風に大会を開催したいとの強い思いがあり、省くところは省き、会員の負担を少なくする、今までとは違った形で開催したいとのことでした。

例会終了後には玉井ガバナーを中心に記念撮影を行い、ガバナー公式訪問を終了しました。

玉井ガバナーにおかれましては朝早いJRで千歳まで移動され、終了後はお仕事のためにすぐ函館に帰られましたが、お忙しい中お越しいただきました玉井ガバナー、橋ガバナー補佐に心より感謝申し上げます。

そして10月に函館で開催される地区大会の成功を心よりご祈念申し上げ報告とさせていただきます。

# ガバナー公式訪問例会報告

室蘭ロータリークラブ

9/25(木)

9月25日、室蘭プリンスホテルにて玉井清治ガバナー、川本康裕ガバナー補佐・菅原正明ガバナー補佐幹事をお迎えし、公式訪問を執り行いました。

玉井ガバナー（以下ガバナー）は、冒頭で形式張らずに皆さんの思いの丈をお聞きする場にしたいと要望され、会長・幹事会では、当クラブの現状について主に会員増強や予算、ハラスマントについて、引継ぎができず途切れてしまった米山留学生について等、本音で率直に意見交換させていただきました。時間が足りない程に様々な助言をいただき、改善の糸口となる気付きの場となりなりました。また、米山留学生の件は迅速に対応していただきありがとうございました。

クラブ協議会では、各委員会担当責任者が、活動方針・活動計画を各々の考え方や思いを補足して説明いたしました。ガバナーからは、月に一度開催している立場や時間を気にせず、時には会食しながら今後のクラブについて話し合う「未来ビジョン会議」、室蘭RC独自の活動や取り組み、特に女性会員の増加を高く評価していただきました。また、今年度三回目の開催となる地元商店街での職業体験「キッズあきない」を数年後にはご協力いただいている他団体に継承したいという展望について、事業を地域に根付かせ外部に引継ぎ、また新たな事業を生み出し発展していくことは、素晴らしい考えと講評いただき自信となりました。

ガバナー講演では、ガバナーが第一の方針としていて当クラブ一番の課題である会員増強についての考え方、ロータリーは数を集めるとの団体ではなく、数を誇るものではありません。ではクラブの適正な数とは、楽しく活性化をしているクラブが最適な人数と力強く語っていただきました。ガバナーの熱い思いは、出席した会員の心に届き伝播していくことでしょう。ロータリーの主体は RI でも地区でもなく一番は各クラブであると知り、歴史ある室蘭 RC ですが、伝統を重んじつつも時代に沿ったクラブ、会員相互が信頼し楽しく活性化するクラブのあり方を模索していきます。

ガバナーの気さくなお人柄に触れ、地区や RI が身近に感じることができました。終始暖かい雰囲気と本音の語らいへと導いていただいたガバナーのご配慮に感謝申し上げます。

ご多忙の中、ご訪問ありがとうございました。



よいことの  
ために  
手を取りあおう



# 2028-2029 年度 ガバナー・ミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 玉井 清治  
地区ガバナー指名委員長 石丸 修太郎

2028-2029 年度地区ガバナー・ミニー候補者として適格な会員が在籍しており、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛に、指定の書式にてご推薦ください。

（書式はガバナー事務所にお問い合わせください）

なお、地区ガバナー・ミニー資格条件については、国際ロータリー細則第 16.010. 節～第 16.020. 節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第 12 条（ガバナーの指名と選挙）  
国際ロータリー第 2510 地区 地区ガバナー指名委員会規定  
(1998-1999 年度地区年次大会決議第 8 号)

2022 年手続き要覧抜粋



文庫通信 394 号：ロータリアン 千玄室元 RI 理事を偲んで～ご講演より

[「夢は現実に」千玄室/ \(D.2650 地区大会\) /2023/12P](#)

[「ロータリーの感動、感激、そして感謝」千玄室/ \(D.2650 地区大会\) /2022/3P](#)

[「特別講話より」千玄室/ \(D.2650 地区大会\) /2021/4P](#)

[「PEACEFULNESS THROUGH A BOWL OF TEA—盤からピースフルネスを」](#)

千玄室/友：2022・9月/2022/10P

PDFの閲覧には「ユーザー名」「パスワード」が必要です。ご不明の場合は、各事務所またはロータリー文庫にお問い合わせください。

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目7番16号 第3小森谷ビル別館6階  
TEL:03(3433)6456、FAX:03(3459)7506

## 新会員のご紹介



## 訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに  
心からご冥福をお祈りいたします。



会員氏名：岩崎 光子（千歳セントラル RC）

逝去日：2025 年 9 月 30 日（満 73 歳）

ロータリー歴：7 年 4 ヶ月

## 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

### 米山功労者

札幌西 RC	石丸修太郎	会員 (25 回)	9 月 29 日
札幌手稲 RC	宮坂 勝文	会員 (2 回)	9 月 11 日
札幌手稲 RC	山田 啓一	会員 (2 回)	9 月 11 日
札幌手稲 RC	池田 和陽	会員 (3 回)	9 月 11 日
札幌手稲 RC	斎藤 利和	会員 (3 回)	9 月 11 日
札幌手稲 RC	福井 敬悟	会員 (28 回)	9 月 18 日
札幌南 RC	ト-キル クリスティンセン	会員 (19 回)	9 月 30 日
札幌南 RC	福山 耕司	会員 (2 回)	9 月 30 日
札幌南 RC	佐藤 嘉一	会員 (5 回)	9 月 30 日
札幌南 RC	網野 泰文	会員 (5 回)	9 月 30 日
札幌南 RC	西川 哲也	会員 (6 回)	9 月 30 日
恵庭 RC	早瀬 源一	会員 (1 回)	9 月 26 日
恵庭 RC	敦澤 君治	会員 (1 回)	9 月 26 日
白老 RC	加藤 泰久	会員 (6 回)	9 月 25 日

### 米山功労クラブ

札幌手稲 RC	35 回	9 月 11 日
札幌南 RC	55 回	9 月 30 日
恵庭 RC	7 回	9 月 26 日

## ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

### メジャードナー

恵庭 RC	斎藤 茂生	会員	9 月 9 日
-------	-------	----	---------

### マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

岩見沢 RC	大作 佳範	会員 (7 回)	9 月 30 日
札幌幌南 RC	佐藤 正	会員 (3 回)	9 月 30 日
札幌幌南 RC	長沢 祐純	会員 (5 回)	9 月 30 日
札幌南 RC	富樫 昭夫	会員 (3 回)	9 月 30 日
恵庭 RC	斎藤 茂生	会員 (8 回)	9 月 9 日

# 2026 年 台北国際大会のご案内



第 2510 地区  
RI 国際大会推進委員長 (PG)  
松浦 光紀

2026 年 6 月 13 日 (土) から 17 日 (水) まで、台湾・台北にて国際大会が開催されます。世界中のロータリアンが一堂に会し、友情を深め、共に未来を語り合う場として、意義あるひとときを共有できるでしょう。開会式・全体会議をはじめ、多彩な公式プログラムや各種イベントが予定されています。

台北は歴史と文化が息づく国際都市です。魅力的な観光地、美味しい台湾料理など、訪れる人々を惹きつけてやみません。大会と併せて、台北の多彩な魅力を存分に味わっていただけます。

また、第 2510 地区では Regent Taipei Hotel にて「北海道ナイト」の開催を予定しており、皆さまとの絆をさらに深める特別なひとときとなるでしょう。

世界中のロータリアンが、皆さまと台北でお会いできる日を心より楽しみにしております。どうぞ皆さまをお誘いあわせのうえご参加ください。

**お申込み締切**

**2025 年 12 月 25 日 (木) まで**

**日 程** 2026 年 6 月 12 日 (金) ~ 15 日 (月) 3 泊 4 日

**旅 費** お一人様 198,000 円

## <旅行費用に含まれる内容>

- 航空会社 エバー航空 エコノミークラス
- ホテル シェラトングランド台北ホテル 又は、同等クラス 2名 1室 利用 朝食付
- 専用車 1日目、4日目の空港～ホテル 往復送迎及、2日目・3日目の午前：ホテルから会場への移動
- 旅行手配料 予約手配、旅程管理費用

## <旅行費用に含まれない内容>

- ・ 燃油空港諸税 26,000 円 (2025 年 7 月現在 ※変動あり)
- ・ 一人部屋利用料金 90,000 円 ・ ビジネスクラス (その都度お見積りをさせていただきます)
- ・ 大会登録料 ・ RI 理事主催朝食会 ・ 北海道ナイト ・ オプショナルツアー (詳細は後日ご案内いたします)

## 【御取消条件】

国際大会の為、航空機及びホテルが非常に混み合い御取消条件が通常より非常に厳くなっています。  
ホテル代は 12 月 1 日より全額かかるために以下の通りとなります。何卒、ご理解くださりお申し込みください。

- お申込後～11月 30 日 無料
- 12 月 1 日～1 月 31 日 100,000 円
- 2 月 1 日～3 月 31 日 120,000 円
- 4 月 1 日～5 月 29 日 140,000 円
- 5 月 30 日～6 月 10 日 160,000 円
- 前日・当日 旅行費用全額

【企画協力】 地区 RI 国際大会推進委員会 実行委員会

【旅行手配】 (株) 産経海外旅行 札幌市中央区北 1 条西 7 丁目 タキモトビル 4 階 担当 斎藤、矢田目  
TEL 011-271-5388 FAX 011-271-5621 e メール : saito@sankeikaigai.jp

# 2026年台北国際大会日程表

日数	日付	都市名	時間	交通	スケジュール	食事
1	6月12日（金）	新千歳空港 発 台北（桃園）着	13:00 16:20	BR165 専用車	エバー航空にて台北（桃園）空港へ 到着後、ホテルへ  夕食：ご希望の方はお食事処へ（OP） ＜台北 泊＞	昼：機内
2	6月13日（土）			専用車	午前：台北南港展覧会（TaiNEX）にて 大会受付、友愛の家  午後：台北郊外、十分、九份見学（OP） ＜台北 泊＞	朝：○ 昼： 夕：
3	6月14日（日）			専用車	朝：RI理事主催朝食会（圓山大飯店） 終日：国際大会開会本会議（台北ドーム）  午後：台北市内、見学（OP）  夜：北海道ナイト Regent Taipei Hotel 内 4階 VIPルーム予定（人気の中華料理） ＜台北 泊＞	朝：○ 昼： 夕：
4	6月15日（月）	台北（桃園） 発 新千歳空港 着	10:10 16:20	専用車 BR116	ホテルより空港へ エバー航空にて新千歳空港へ	朝：○ 昼：機内 夕：

※上記スケジュールは 2025 年 8 月現在予定であり、交通機関、当地施設の都合、その他状況で変更になります。

## お申込み・お問合せ

(株) 産経海外旅行  
札幌市中央区北1条西7丁目 タキモトビル4階

**TEL : 011-271-5388**  
**FAX : 011-271-5621**  
**MAIL: saito@sankeikaigai.jp**

(担当：斎藤、矢田目)



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

# ハイライトよねやま

vol. 307

2025年10月14日  
発行

## 1 10月は「米山月間」— はじまりと歩み —

国際ロータリー理事会が定める「ロータリーの特別月間」に加え、日本独自のテーマとして10月は「米山月間」とされています。では、なぜ10月なのでしょうか。

1975年8月、米山梅吉翁のご逝去（4月28日）にちなみ、命日を含む1週間を「米山週間」と定めることができました。これは、当時一部の地区で行われていた奨学事業の強化活動を全国へ広げ、米山奨学事業を推進すること目的としたものです。

しかし1980年度には、「米山週間」は4月から10月1日～7日へと移されました。その背景にはいくつかの理由があります。まず、「ロータリ雑誌週間」が1978年度から4月に設定され、期間が重なってしまったこと。さらに、4月では各クラブへ送付される事業報告書の内容が

前年のデータになってしまい、採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼するのが難しいこと、加えて春の交通ストライキの影響を受けやすいことなど、実務上の課題がありました。そして決定的だったのは、東京RCによる米山基金から日本全地区クラブの共同事業とする決議・合意が行われた地区大会が、いずれも10月に開催されていたことです。これが「米山月間」が10月に定められた最大の理由とされています。

1983年には「週間」から「月間」へと制度が改められ、以来、10月は米山月間として定着し、今日まで受け継がれています。



## 2 宝塚大劇場でレクリエーション開催

9月28日、国際ロータリー第2660地区米山奨学委員会主催による年に一度の恒例行事「宝塚レクリエーション」が、兵庫県宝塚市の宝塚大劇場で開催されました。

今年のレクリエーションには、吉川健之ガバナー、吉村昭ガバナーノミニーのほか、松田振興地区米山記念奨学委員長をはじめ12人の地区米山奨学委員、56人の米山奨学生、82人のロータリー会員とその家族、12人の米山学友が参加し、計152人が第一部の懇親会に集まりました。

参加した米山学友は受付や案内を担当しました。同地区米山学友会では、他地区的米山学友



会から新たに転入してきた学友が活躍できるよう、さまざまなイベントへの参加を呼びかけており、12人のうち4人が転入学友でした。

今回のレクリエーションは、第一部の懇親会と第二部の観劇の二部構成で行われました。第一部では、米山奨学生一人ひとりが約1分間の近況報告を行い、続いて転入した4人の米山学友が自己紹介を行いました。その後、全員で宝塚歌劇の舞台を鑑賞。多くの奨学生・学友にとって初めての観劇となり、「迫力に感動した」との声が多く寄せられました。

### 3 | 寄付金速報 一 年に1度の米山月間 一

前年同期比

**-4.6%**

普 -0.01% 特 -10.0%

9月までの寄付金は、前年同期と比べて4.6%減（普通寄付金:0.01%減、特別寄付金:10.0%減）、約1,600万円の減少とな

りました。普通寄付金はほぼ前年並みとなりましたが、特別寄付金が前年同月（単月）より約600万円減少し、全体の寄付額減少に影響しています。10月は年に一度の米山月間です。引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 4 | クリーンアップウォーキングで街をきれいに

9月23日、第2770地区米山学友会の主催で、クリーンアップウォーキングが春日部駅中央町第4公園およびその周辺で開催されました。春日部RC、春日部西RC、春日部南RC、春日部イブニングRCをはじめとするロータリー会員26人、米山奨学生22人、米山学友8人など、計63人が参加しました。

参加者は春日部駅から公園に移動し、清掃用具の配布と注意事項の説明を受けた後、4グループに分かれて春日部駅周辺の各ルートを歩きながら清掃活動を行いました。



各グループで公園内を清掃

活動後には懇親会が開かれ、参加者からは「地域に少しでも貢献できて嬉しい」「奉仕活動を通じて交流ができたことが何よりの喜び」といった声が聞かれました。

同学友会会長のスヌワル ディペンドラさん（2016-18／越谷南RC）は今回の活動を通じて、「地域とのつながりを再確認するとともに、今後も楽しく意義ある奉仕活動を続けていきたいです。引き続き、温かいご支援をお願いします」と述べました。

#### 海外米山学友会総会情報

**◆韓国◆ 2025年11月8日（土）18:00～**

会場：ソウルパシフィックホテル

（11月7日に前夜祭を開催予定）

※申込期限：10月30日（木）

**◆台湾◆ 2025年12月6日（土）17:30～**

会場：格萊天漾大飯店 GREAT SKYVIEW

（12月5日に前夜祭、12月6日午前にミニツアーを開催予定）

※申込期限：11月12日（水）

韓国学友会総会

詳細は[こちら](#)



台湾学友会総会

申込は[こちら](#)





# コーディネーター NEWS

2025年11月号 No.1

発行 : Region 1, 2 & 3  
 RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC  
 行動計画推進リーダー  
 国際大会推進チーム

## 第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター 新井 和雄（下館 RC）

ロータリー財団は、社会に持続可能な良い変化をもたらすための活動を支えています。例えば、平和構築と紛争予防や環境の保護、地域社会の経済発展、基本的教育と識字率向上、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康など7つの重点分野に焦点をあてた補助金プログラムは、ロータリーの支援を必要としている人々に希望の光を届けています。またポリオ根絶活動は、国際的な連携により感染者数を劇的に減少させる成果を挙げています。

本稿では、これら重点分野の最初に掲げられ「平和構築と紛争予防」に貢献する人材育成の取り組みとして、ロータリー平和センターについてご紹介いたします。

ロータリー平和センタープログラムは、1999年に創設され2002年に初の平和フェローが誕生しました。現在、世界に7つのセンターがあり、115カ国以上から1,500人を越える平和フェローが卒業しています。日本では、国際基督教大学(以下 ICU)がアジア唯一の平和センターとして選ばれ、平和研究の修士号を取得する2年間のプログラムを提供しています。そして、ICUの所在地である第2750地区とその周辺6地区により「ホストエリア」が組織され、文化交流や研修旅行、修了式などの活動が展開されています。

さらに、インドのプネーにあるシンビオシス国際大学に、修了証プログラムの平和センターが新設されることが決定しており、2026年に募集を開始し、2027年から受け入れを開始する予定です。

ここで、ICUロータリー平和センター長である新垣修教授の新たな取り組みをご紹介しましょう。新垣教授は、従前の広島研修旅行を日本ならではの平和教育の場と位置づけるとともに、新たに東日本大震災の被災地に着目し、災害の視点から東北研修旅行を導入されました。教授は、そこにあるのは苦難だけではなく、立ち直っていく人々の力強さや希望であり、海外では災害が武力紛争を引き起こす事例も少なくないことを指摘されています(新垣 2025)。そして、平和構築の課題として「戦争の記憶」と「災害の経験」という二つの異なる文脈から平和を学ぶ点に触れ、日本の平和センターの価値をさらに高めておられます。

この平和の使者たちを世界に送り出すプログラムは、ロータリー財団から毎年400万ドルを超える資金が投下されており、ロータリーが如何に平和構築に力を入れているかがおわかり頂けると思います。加えて前述した日本ならではの活動は、日本全国のロータリー会員全員のご協力によって支えられています。ここに、世界平和を希求する皆様の思いに深く敬意を表するとともに、皆様の地区から世界へ羽ばたく平和フェローの推薦をお願い申し上げます。

(引用) 新垣修、ロータリーボイス、2025

「戦争の記憶」と「災害の経験」の継承—ICUロータリー平和センターの新たな挑戦—  
 ICUロータリー平和センター、センター長 新垣 修





# コーディネーター NEWS

2025年11月号 No.2

発行 : Region 1, 2 & 3  
 RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC  
 行動計画推進リーダー<sup>®</sup>  
 国際大会推進チーム

## 第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 宮崎 陽市郎（東京三鷹 RC）

ロータリー会員の皆様お元気ですか、ARPIC の宮崎陽市郎です。

所属は東京三鷹 R C です。今月のコーディネーターNEWS では、「ポリオ根絶活動をどのようにロータリーの公共イメージ向上につなげて行くか」という私の個人的な活動を紹介したいと思います。

皆様の記憶に残っていると思いますが、2020 年 8 月 25 日に世界保健機関 (WHO) がアフリカ地域での野生株ポリオウィルス根絶宣言がされ、この歴史的出来事をマスメディアでは大きく取り上げて報道されました。しかしどの番組や記事を見ても「ロータリークラブ」という言葉は使われませんでした。嬉しさと、残念さが入り混じり憤りさえ感じたことを今でも覚えています。これをきっかけに私は決意したのです。ガバナーエレクトであった 2022 年 10 月にロータリーの取り組んでいるポリオ根絶活動の周知と寄付を募るために、「ポリオ根絶日本縦断サイクリングチャレンジ」として、北海道稚内から鹿児島県の佐多岬まで 2700 キロを 23 日間で走破しました。当時の佐藤 RI 理事のお声がけで、各地区のガバナーやガバナーエレクトの協力を得て、新聞やテレビの取材を受け、寄付も 2000 万円を集めることができたのです。

翌年のガバナ一年度には、新潟柏崎から東京の有明まで走るサイクリングチャレンジを行い、私ども第 2750 地区のポリオ根絶イベント会場にゴールいたしました。4 月には大阪から日本橋までの 520 キロを 30 時間で一気に走るチャレンジを決行しました。

昨年の 2024 年 10 月の世界ポリオデーに合わせ、二度目の日本縦断サイクリングチャレンジを北海道根室から長崎県佐世保の神崎鼻岬まで 2700 キロを 22 日間で走破しました。

北海道釧路では NHK の取材を受け、その日の夕方には何度もテレビで放映されました。この年は、Raise for Rotary というサイトで寄付を募りました。このサイトはクラブや個人の活動を紹介し SNS で活動を発信し、ロータリー以外の方の寄付を募り、又ロータリー会員の寄付はご自身のロータリー財団への寄付実績になります。チャレンジ・お祝い・記念日・自分の得意なことを行い、サポートしたい内容を選ぶことができます。例えば、ポリオプラス基金・ロータリー災害救援基金・WF(国際財団活動資金)・7 つの重点分野への寄付を募ることができます。

日本では個人の活動で寄付を募る文化はありませんが、海外ではよく行われています。世界を変える行動人としてクラブでの奉仕活動、そして個人の活動を友人やロータリー会員以外の方に伝え、ロータリークラブのイメージ向上を図ろうではありませんか。

マスコミはクラブや地区の活動、ましてロータリークラブという団体の名前はなかなか発信していただけませんが、インパクトある活動は取り上げていただけます。自ら行動するのがロータリーです。





# コーディネーター NEWS

2025年11月号 No.3

発行 : Region 1, 2 & 3  
 RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC  
 行動計画推進リーダー  
 國際大会推進チーム

## 第3地域 行動計画推進リーダー：恒久基金・大口寄付アドバイザー 研川 昭一（熊本江南RC）

現在2つのお役目を頂戴しております。一昨年の今頃、佐藤元 RI 理事より、APC(アクションプランチャンピオン)という聞きなれないお話をありました。第1地域菅原さんと、第2地域桑澤さんとで、一体何をすればいいのだろうかと手探りの日々でした。

ここでこの2年間を振り返ってみたいと思います。その後4半期に1回ステファニー・アーチック RI 会長エレクトとのリモート会議も行われ、少しずつ行動計画推進へ取り組む姿勢が分かってきました。年が明けまして、国際協議会あたりから、クラブ単位まで行動計画を浸透させるために、各地区に地区 APC を設置して欲しいと地域 APC とガバナーエレクトにご依頼が参りました。ガバナーエレクトにはガバナーへ向けた準備が大変な時でしたが、ご協力頂き、5月末には全地区に地区 APC が誕生し、オンラインで行動計画の進め方の話し合いを行い、各地区単位での、クラブへの指導をお願いし、引き続きロータリークラブ・セントラルへの目標入力をして頂くお願いをする運びとなりました。

ただ、混乱しましたのは、同時に3年間計画、3-Year Rolling Goals の登場でした。クラブに継続性をもたらすために、会長、会長エレクト、会長ノミニー、いらっしゃらなければ直前会長を交えて、将来のクラブの姿をイメージし、定量的な数値目標を3年先まで想定して頂き、それを毎年繰り返して頂こうというものでした。しかしながら、肝心のその3年先の目標を入力するツールであるロータリークラブ・セントラルの改修がいつになるか分からず、そこで、第2地域桑澤さんが担当される Japan Portal Site 内において、3年間一堂に見て、入力できるエクセル仕様の入力表が暫定的に作られた訳です。12月に入ってやっとロータリークラブ・セントラルに4つの優先事項に沿って、26項目3年間入力できるように改修されましたが、残念ながら、3年間を単年度しか見れず、その結果、日本独自にクラブをサポートするグーグルフォームによる、今年度、来年度の目標及び達成状況を設定する方法がスタートすることになりました。

ある意味でロータリークラブ・セントラルに入力しながら、グーグルフォームにも記入するという煩雑さが生まれた訳ですが、今まで、ロータリークラブ・セントラルになかなか到達できなかったクラブ会長さん方にとっては大きな効果を生んでいます。第3地域の APC としての役職を務めまして改めて思いますことは、11の地区は事情も環境もそれぞれに異なるということです。その地区その地区的やり方、クラブそれぞれのやり方を尊重すべきと思いました。さらに、ガバナーによるクラブサポートミーティング、地域リーダーによるガバナーサポートミーティングも始まりました。他のクラブや地区的状況をお互い知ることには大きなヒントがあります。まずは挑戦いたしましょう！

次に、恒久基金/大口寄付アドバイザーとしましても、本年度から活動を始めました。私は32年間、人工透析をしながら、今まで仕事もロータリーも頑張って参りました。その間、多くの方々のご支援、ご理解を頂きました。ひたすら感謝の思いです。当初は、5年か10年程度しか生きられないから、仕事も安心して任せられないと言われることもありましたが、そのたびに、絶対長生きして見返してやると歯を食いしばって参りました。

人工透析には大きな医療費がかかりますが、有難いことに、透析患者は難病指定で特別の保険制度があり、軽い負担で治療を受けることができます。私はいつかどんな恩返しができるかをずっと考えてきましたが、正にこの役職は自分自身にとっても大きなチャンスと思っています。新しい日本の寄付文化を一歩ずつ作って参りたいと思います。



# 9月会員数・例会数報告

グル ープ	クラブ名	例 会 数	会員数			
			2025.7.1	2025.9.30	増減	内女性
1	深川	3	28	30	2	2
	幌羽	3	33	32	-1	2
	留萌	3	22	22	0	4
	小計		83	84	1	8
2	赤平	3	20	19	-1	3
	芦別	2	27	27	0	1
	砂川	3	41	41	0	2
	滝川	4	82	82	0	7
	小計		170	169	-1	13
3	美唄	2	21	20	-1	2
	江別	4	32	34	2	2
	江別西	3	31	29	-2	1
	岩見沢	2	89	93	4	2
	岩見沢東	4	9	9	0	0
	栗沢	3	13	13	0	0
	栗山	4	22	23	1	4
	当別	4	27	27	0	3
	小計		244	248	4	14
4	札幌幌	2	105	121	16	4
	札幌はまなす	3	27	28	1	3
	札幌北	3	31	31	0	5
	札幌モーニング	2	34	34	0	0
	札幌西	4	44	45	1	8
	札幌西北	2	28	28	0	4
	札幌手稲	2	31	31	0	3
	小計		300	318	18	27
5	札幌東	3	95	99	4	3
	札幌清田	2	9	9	0	3
	札幌幌南	2	59	62	3	6
	札幌真駒内	3	18	18	0	5
	札幌南	3	74	73	-1	4
	札幌大通公園	2	13	13	0	3
	札幌ライラック	2	11	11	0	1
	新札幌	2	19	20	1	5
	小計		298	305	7	30
6	岩内	3	30	30	0	1
	俱知安	2	34	35	1	4
	小樽	4	73	74	1	5
	小樽南	2	49	51	2	5
	小樽錢函	3	10	10	0	1
	蘭越	2	7	7	0	0
	余市	4	38	38	0	4
	小計		241	245	4	20

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数17名（内女性会員1名）を含む

※札幌西北RCには札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブの会員数3名（内女性会員1名）を含む

※函館五稜郭RCには五稜郭すずらんロータリー衛星クラブの会員数7名（内女性会員0名）を含む

## 9月会員増減数

クラブ数

67

期首会員数

2,249人

当月末会員数(女性)

2,301人(202人)

増加会員数

52人

グル ープ	クラブ名	例 会 数	会員数			
			2025.7.1	2025.9.30	増減	内女性
7	千歳	3	78	78	0	11
	千歳セントラル	2	41	42	1	10
	恵庭	4	41	44	3	4
	北広島	3	18	18	0	2
	長沼	3	16	16	0	3
	小計		194	198	4	30
8	えりも	2	16	15	-1	1
	三石	3	10	10	0	0
	様似	2	5	5	0	1
	静内	2	55	54	-1	5
	浦河	3	21	22	1	3
	小計		107	106	-1	10
9	伊達	3	53	53	0	2
	室蘭	3	26	27	1	4
	室蘭東	3	29	29	0	2
	室蘭北	3	45	46	1	1
	登別	4	31	30	-1	2
	洞爺湖	2	11	11	0	1
10	小計		195	196	1	12
	函館	3	66	67	1	5
	函館亀田	3	29	29	0	3
	森	2	30	32	2	2
	七飯	3	14	14	0	0
	長万部	3	9	9	0	0
11	函館セントラル	4	26	25	-1	2
	小計		174	176	2	12
	江差	2	10	10	0	0
	函館五稜郭	3	46	54	8	2
	函館東	3	32	34	2	5
	北斗	3	12	12	0	0
12	小計		100	110	10	7
	白老	3	28	30	2	4
	苦小牧	4	57	59	2	4
	苦小牧東	4	30	29	-1	9
	苦小牧北	3	28	28	0	2
	小計		143	146	3	19
合計			2,249	2,301	52	202

## 地区カレンダー 11月・12月

11月 ロータリー財団月間	
1 (土)	
2 (日)	
3 (月)	文化の日
4 (火)	
5 (水)	
6 (木)	
7 (金)	
8 (土)	
9 (日)	
10 (月)	公式訪問(函館亀田RC)
11 (火)	
12 (水)	
13 (木)	
14 (金)	
15 (土)	千歳セントラルRC創立35周年記念式典
16 (日)	
17 (月)	ロータリー財団地域セミナー(横浜)
18 (火)	第2回ガバナーエレクトラーニングセミナー(横浜) ガバナーノミニーラーニングセミナー(横浜) 第2回ガバナーカンファレンス(横浜)
19 (水)	ロータリー研究会(横浜)
20 (木)	ロータリー研究会(横浜)
21 (金)	財団補助金管理セミナー(オンライン)
22 (土)	
23 (日)	勤労感謝の日
24 (月)	振替休日
25 (火)	
26 (水)	
27 (木)	
28 (金)	
29 (土)	
30 (日)	Let's enjoy cooking(札幌)

12月 疾病予防と治療月間	
1 (月)	
2 (火)	
3 (水)	
4 (木)	
5 (金)	
6 (土)	
7 (日)	2026学年度米山奨学生選考試験(札幌)
8 (月)	
9 (火)	
10 (水)	
11 (木)	
12 (金)	
13 (土)	
14 (日)	
15 (月)	
16 (火)	
17 (水)	
18 (木)	
19 (金)	
20 (土)	
21 (日)	
22 (月)	
23 (火)	
24 (水)	
25 (木)	
26 (金)	
27 (土)	
28 (日)	
29 (月)	
30 (火)	
31 (水)	

# 2025-2026 年度 ガバナー公式訪問に関するお願ひ

2025-26 年度の公式訪問は「公式訪問日程」の通り 7 月 8 日、札幌西ロータリークラブから始まります。貴クラブへの訪問を有意義なものとするためにも、下記の事項についてお手配とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## 1. 公式訪問に必要な書類

下記の書類は貴クラブ訪問日の 2 週間前までにガバナー事務所へお送り下さい。

- ①今年度（2025-2026）クラブ活動計画書と前年度（2024-2025）活動報告書  
※公式訪問が 7・8 月のクラブの場合は、活動報告書は前年度分で代用可能です。
- ②クラブ細則
- ③会員名簿
- ④クラブ会報（最近の 4～5 回分）
- ⑤過去 5 年間の年度別会員入退会数および退会者のクラブ在籍年数
- ⑥貴クラブの特徴（クラブの自慢、良い事業等）を紹介下さい。

## 2. 会長・幹事懇談会

- ①会長・幹事の他に会長エレクトも必ずご出席下さい。

## 3. クラブ例会

- ①和やかで楽しく例会を行うためにも、より多くの会員に出席を奨励して下さい。
- ②ご連絡戴いた地元公共機関へのご挨拶は喜んで訪問させて戴きます。
- ③訪問時のお心遣いは、お気持ちだけ頂き固くご辞退致します。

# ガバナー事務所からお願い

## 1. クラブの例会数・会員数報告について

毎月の最終例会から 15 日以内にガバナー事務所へ FAX かメールにて提出するようお願い致します。

## 2. 変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を添付の上、氏名、入会日、職業分類をお知らせ下さい。

また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、お写真を至急ご報告くださいますようお願い致します。

## 3. クラブの移動例会等について

地区ホームページにフォームがありますので、アクセスしてご連絡下さい。

地区ホームページ ⇒ 例会変更フォーム の順でアクセスできます。

(ホームページにアクセスが難しい場合は FAX、メールでお送り下さい)

## 4. ガバナー月信への原稿寄稿について

特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真 1～2 枚をご同封願えればと考えています。**原稿締切り日は毎月 5 日**です。（メールでのご連絡にご協力ください）